

FUKUSEIKAI HOSPITAL

福西会病院

病院案内

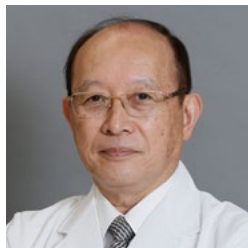


社会医療法人 福西会

誠実で信頼される医療

基本方針

- ◎ 救急病院として地域社会・地域医療に貢献します
- ◎ 患者さんと共に安全・安心なチーム医療を行います
- ◎ 積極的な医療・介護連携を目指します
- ◎ 医療人として常に自己研鑽をします



社会医療法人 福西会
福西会病院 病院長

岩崎 昭憲

Akinori Iwasaki

2025年4月1日付で山下裕一前院長の後任として病院長に就任致しました。

当院は1970年に開設され、2008年には「福西会病院」に名称を変更し、2025年をもって創立55周年を迎えます。また2019年に特定医療法人、2020年に社会医療法人に認可された公益性の高い医療施設です。社会医療法人福西会グループの基幹病院として急性期医療に注力し、一次・二次救急患者から強化型在宅診療までの幅広い診療を行っています。2024年度は3000件以上の救急搬送を受け入れており、手術件数も1300例を超えるなど積極的な医療にも取り組んでいます。

また2000年以来、日本医療機能評価機構から5回の認定を受けています。このことは、患者中心の医療を推進し、日常的に安全・安心で良質な医療を提供し続けている病院の証だと考えます。これからも「誠実で信頼される医療」を理念に掲げ、地域社会・医療に貢献し皆様のご期待に応えていきたいと思ひます。

さて、当該施設がある福岡・糸島医療圏の状況は、2025年の総人口約176万人で、2011年と比較し入院患者数は47%、外来患者数は19%増加と全国平均よりも非常に高い伸び率を示しています。このように医療の必要度がさらに増す一方で、団塊の世代が全て75歳を迎えるため、受診や入院が

増えることが予想されます。当然、これに伴い受診や入院も増え、高齢者は、呼吸器疾患、心疾患、脳血管疾患、糖尿病や高血圧、脂質異常症、整形疾患など複数の疾患を併せ持ち、その6割が3つ以上の疾患を併発しているとも言われています。高齢者救急の医療の難しさが、ここにあります。どの医療施設も幅広い診療体制が求められています。

当院では、大学をはじめとする病院で十分に研鑽を積んだ専門医師や看護師、メディカルスタッフが綿密な連携をとりながら治療を行っています。200床ほどの中規模病院ですが、数多くの診療科やセンターを有する特徴を生かし、質の高い医療と、安全な医療の提供を心がけています。そのこともあり毎年医学生の学外教育を受け入れるほど信頼の厚い施設でもあります。皆様も安心して来院いただけたらと思います。

アクセスは極めて良く、地下鉄七隈線野芥駅のそばにあり、バス停も病院玄関前が昇降場所で、駐車場も完備されています。また近接する大学病院との連携が取りやすい場所にも位置しております。

これからも周辺の診療所・病院群と緊密な連携をとりながら、皆様に選ばれる病院を目指していきたくと存じます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

患者さんの権利

1. 個人としての人権が尊重される権利
2. 質の高い医療を公平に受ける権利
3. 真実を知る権利、または、真実を知らされない権利
4. 病状や医療内容について、十分に説明を受ける権利
5. 医療行為を、自分の意思で選択する権利
(セカンドオピニオンを受ける権利)
ただし、医学的に不適切な医療を求める権利はありません。
6. 医療情報の開示を求める権利
7. 個人情報保護される権利

患者さんの責務

1. ご自身の状態やその変化など正確な情報を医療従事者へ報告する責務
2. 治療に必要な医療上の指示を守る責務
3. 病院の規則を守り、快適な医療環境を維持する責務
 - 禁酒、禁煙
 - 他の患者さんへの迷惑行為の禁止
 - 職員への暴言・暴力・セクハラ・業務妨害などの禁止
4. 自己負担金を支払う責務

病院概要

標 榜 科	◎呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／腎臓内科／人工透析内科／脳神経内科／一般内科／放射線科 整形外科／消化器外科／肛門外科／呼吸器外科／泌尿器科／脳神経外科／一般外科／麻酔科(常勤医:高橋亨)／リハビリテーション科		
病 床 構 成	◎一般病棟 198床(急性期一般入院料1:148床 地域包括ケア病棟入院料1:50床)		
認 定 施 設	◎厚生労働省臨床研修指定病院(協力型) ◎日本胆道学会指導施設 ◎日本循環器学会専門医研修施設 ◎日本外科学会外科専門医制度修練施設 ◎日本腎臓学会認定教育施設	◎日本大腸肛門病学会認定施設 ◎公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院 ◎日本泌尿器科学会専門医教育施設 ◎日本消化器科学会専門医関連施設 ◎日本呼吸器内視鏡学会関連施設	◎日本透析医学会教育関連施設 ◎呼吸器外科専門医合同委員会関連施設 ◎日本超音波医学会専門医研修施設 ◎日本整形外科学会専門医研修施設 ◎日本消化器内視鏡学会指導施設
そ の 他	◎在宅診療サービス		

病院沿革

昭和45年 6月	川浪病院開設(23床)	平成18年 8月	7対1看護体制実施	平成28年10月	日本医療機能評価機構(3rdG.ver.1.1)更新
昭和55年 8月	74床に増床	昭和55年 10月	日本医療機能評価機構(Ver.5)更新	平成28年11月	電子カルテ更改(富士通/Cloud chart)
昭和60年 6月	137床に増床	平成20年 4月	福西会病院へ病院名称変更	平成29年 9月	地域包括ケア病棟50床開設(一般:148床)
昭和62年 2月	188床に増床	平成22年 2月	オーダリング(第1次)導入	平成31年 4月	国税庁より特定医療法人の認可
昭和63年 5月	救急告示病院認可	平成22年 10月	オーダリング(第2次)導入	令和 2年 4月	80列マルチスライスCT導入
昭和63年 3月	人工透析開始	平成23年 7月	電子カルテ運用開始	令和 2年 4月	福岡県知事より社会医療法人認定
平成12年 12月	更生医療指定医療機関	平成23年 10月	日本医療機能評価機構(Ver.6)更新	令和 2年 4月	救急科新設
平成12年 4月	北棟工事完了(1期工事)病棟・外来移転	平成24年 4月	DPC対象病院	令和 3年 6月	体外衝撃波腎・尿管結石破砕装置導入
平成12年 10月	10床増床し198床となる	平成26年 5月	心カテ装置更新	令和 3年 10月	日本医療機能評価機構(3rdG.ver.2.0)更新
平成16年 4月	開放型病院共同指導料 施設基準認可	平成26年 10月	地域包括ケア病床22床開設(一般病棟 176床)	令和 5年 9月	電子カルテ更改(富士通/Cloud chartII)
平成17年12月	日本医療機能評価機構一般病院種別A認定	平成27年 4月	PACSシステム導入、在宅診療開始	令和 6年 4月	人工関節手術支援ロボットROSA導入
平成17年12月	臨床研修病院指定(協力型)	平成27年 5月	在宅療養支援病院 施設基準認可		
平成18年 6月	北九州病院グループ傘下となる	平成28年 4月	脳神経外科新設		
	DPC準備病院		特定健診・特定保健指導開始		

診療センター

腎センター、消化器センター、大腸・肛門病センター、呼吸器センター、気胸センター、内視鏡センターを設置しています。

腎センター（人工透析室）

安心・安全な透析医療と患者さんの社会生活の向上を目指します。

センターの特徴

腎センターでは腎不全に対して、血液透析、腹膜透析の治療、管理を中心に腎移植に関わる検査、手続きなどを行っております。

主な治療

◎血液透析（HD） ◎血液ろか（HF） ◎血液ろか透析（HDF）
◎オフラインHDF ◎オンラインHDF ◎I-HDF

透析中の食事に関して

血圧低下の要因となりうるため、透析中の食事は原則行っておりません。
飲食可能な待合室が男女各更衣室に併設されており、院内には喫茶アイリス（正面玄関横）や売店もございますので、透析後の食事は可能です。
また別途、ご家族様の待合室もございます。



消化器センター

食物の通過・消化・吸収・排泄に関わる、
人間にとって大事な臓器を守るため尽力いたします。

センターの特徴

内科・外科の垣根を超え、医師・看護師・放射線技師を含めた
多職種での医療チームを結成し、患者さんの治療に尽力いたします。

主な対応疾患

◎食道がん・胃がん・大腸がん ◎膵がん・胆道がん ◎肝臓がん
◎胃潰瘍 ◎胆石症・胆嚢炎 ◎胆管炎 ◎憩室炎など

扱う治療内容

◎内視鏡的治療 ◎薬物療法 ◎外科手術 ◎内視鏡外科手術 ◎化学療法



大腸・肛門病センター

痔核・裂肛・痔瘻などの肛門疾患、大腸ポリープ、大腸がんなど、
さまざまな大腸・肛門疾患の予防から診断・治療・緩和まで、
信頼の医療を目指し、日々の診療を行っています。

センターの特徴

男性医師1名、女性医師2名で診療にあたっています。
性別を問わず受診しやすい体制を整えています。

主な対応疾患

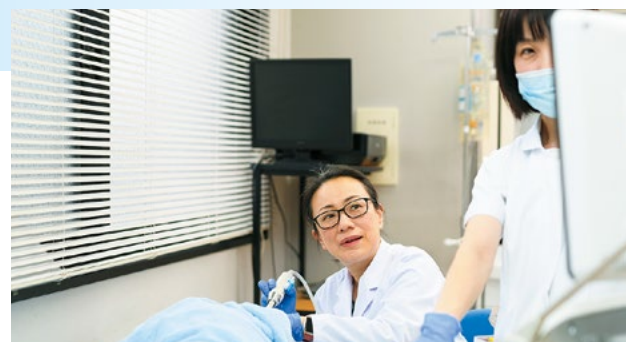
◎肛門疾患（内痔核、痔瘻、裂肛、肛門狭窄、直腸脱など）
◎大腸疾患（大腸ポリープ、大腸がん、大腸憩室症など）
◎大腸肛門機能障害（便秘、下痢、便失禁、直腸瘤など）

主な検査

◎内視鏡検査、エコー、MRIなど ◎肛門内圧検査 ◎直腸容量検査 ◎排便造影検査

主な治療

◎薬物療法 ◎手術療法 ◎排便機能回復訓練（バイオフィードバック訓練）



呼吸器センター

わが国における死亡原因第1位である悪性腫瘍の中でも最も死亡者の多い肺がんを中心に、呼吸器疾患のほぼ全ての領域に対応します。

センターの特徴

当センターは呼吸器全ての急性期疾患、
炎症性疾患、がんに対して幅広く対応いたします。

主な対応疾患

◎肺がん ◎呼吸器感染症（肺炎など） ◎間質性肺炎
◎気管支喘息 ◎慢性閉塞性肺疾患（COPD） ◎肺気腫

扱う治療内容

◎化学療法 ◎薬物療法 ◎外科手術
◎内視鏡的手術 ◎胸腔鏡下手術



気胸センター

当院は、気胸の治療を得意とする病院です。
呼吸器内科と呼吸器外科が一体となり、気胸センターを形成しています。

センターの特徴

当院ではこれまであらゆる気胸の患者さんに対して多くの治療を行い、
そのほとんどが軽快、あるいは完治して
早期に社会復帰できているという実績があります。
難治性気胸例や、合併症などで大学病院でも手術の難しい患者さんについても、
紹介を受け治療を行っています。

主な治療

胸腔鏡下手術やドレナージ治療はもとより再発難治性気胸に対して行う
フィブリン糊・肺瘻閉鎖術や気管支充填術（EWS）治療を行っています。



内視鏡センター

内視鏡センターでは、
常に安全で苦痛の少ない内視鏡検査を心がけております。

センターの特徴

内視鏡センターでは、上部消化管内視鏡（食道、胃、十二指腸）、
下部消化管内視鏡（大腸）、胆膵内視鏡、気管支内視鏡をそれぞれの
専門分野別に行っています。

主な検査と治療

内視鏡によるさまざまな検査・治療が可能です。
◎消化管／消化管（食道・胃・十二指腸・大腸）の内視鏡を行っています。
AI付内視鏡を導入し、がんと良性疾患の区別を即座に行うことが出来ます。
◎気管支鏡／肺疾患や肺がんの診断を行っています。喉と気管を麻酔して
気管支までを内視でき、気道異物などの緊急気管支鏡は、
内視鏡室や手術室で行います。



高度医療機器

CT(80列マルチスライス)、MRI、血管造影装置、人工関節手術支援ロボット、胆管・膵管造影治療用内視鏡(ERCP)、AI内視鏡などの高度医療機器を揃え、幅広い疾患に対して、適切な検査、治療を行うことができます。



CT(80列マルチスライスCT)

X線を利用して体内の情報を集め、人体のいろいろな断面像を撮影することができます。今までのCTの性能はそのまま、新技術により低線量化(最大75%減)され、患者さんにやさしい装置です。

MRI(1.5テスラ以上3テスラ未満)

MRI検査はX線検査やCT検査のようにX線を使わず、強力な磁石を埋め込んだトンネルの中に入り、電波を身体に当てることで体内の状態を断面像として撮影することができます。特に脳、脊椎、四肢、骨盤腔(子宮・卵巣、前立腺)の病変に関しては、優れた描出能力を持っています。

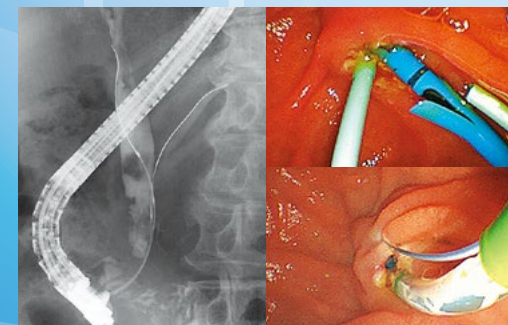


血管造影装置

当院の血管造影装置は、FPD(フラットパネルディテクター)と呼ばれる検出器を搭載しており、従来より診断能力の高い鮮明な画像を提供することが可能です。心臓血管、腹部臓器血管、四肢血管などの造影と治療が可能です。

ROSA Reconロボットシステム

ROSAは、Robotic Surgical Assistantの略で、膝や股関節の人工関節置換術にて執刀医のサポートを行う手術支援ロボットです。六軸多関節ロボットアームと光学カメラユニットに分かれており、患者の膝や股関節の位置を正確に把握し、人工関節を置換するための骨切り量を0.5mm単位、角度を0.5°単位で設定が可能となります。



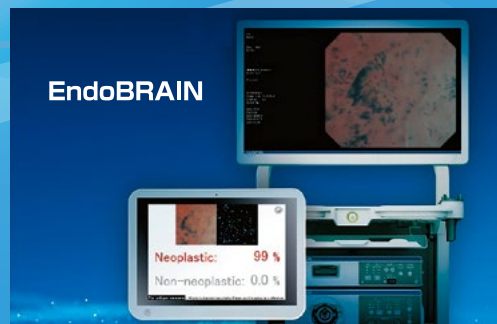
胆管・膵管造影治療用内視鏡(ERCP)

口から飲む内視鏡を使って胆管・膵管を造影する検査をERCPといい、専用の内視鏡装置が必要です。ERCPは、総胆管結石、胆管がん、膵がんなどの診断と治療に有用です。当院では、緊急の治療が必要な急性胆管炎治療に熟達した医師の下で、24時間いつでもERCP下の胆道ドレナージを行っています。

AI内視鏡

内視鏡画像診断支援ソフトウェアEndoBRAIN

当院では、病変の腫瘍・非腫瘍の判別を検査中にリアルタイムに行うオリンパス社製の診断支援ソフトウェア「AI内視鏡(EndoBRAIN)」を導入しています。撮影された大腸の超拡大内視鏡画像をAI(人工知能)が解析し、高い診断精度で医師の診断をサポートします。



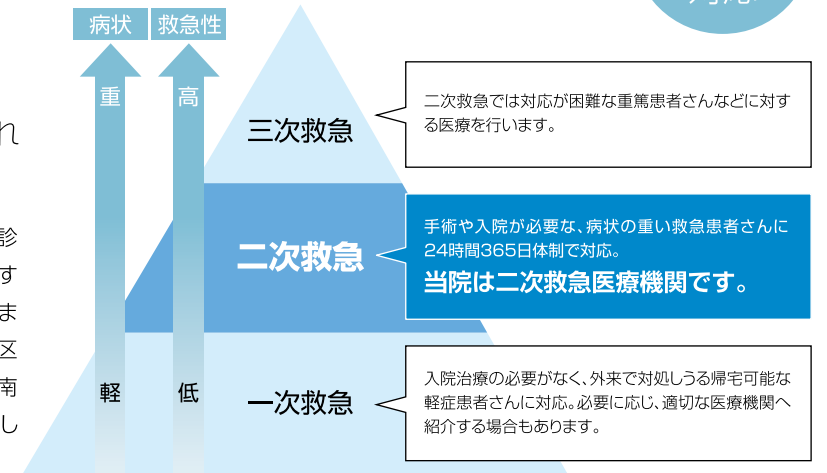
救急医療

24時間365日、地域のみなさまに頼られる病院であるために、救急の処置が必要な患者さんの受け入れ対応などを積極的に行っています。

24時間
365日
対応

当院は二次救急医療機関として、年間3,000件以上*の救急搬送受け入れ実績があります。*2023年度実績

時間外や休日でも内科系1名、外科系1名の計2名の医師が診療にあたっています。必要場合は専門医がオンコールですぐに病院に駆けつけ、脳卒中、心筋梗塞、外傷など、さまざまな傷病に対応しています。24時間365日、福岡市早良地区の中核病院として急性期疾患の診療・診断を担い、福岡西南部における二次救急医療の基幹病院としての役割を果たしております。



救急外来・時間外外来のご案内
急患受付番号
電話092-861-2780(代表)

平日の日勤帯の診療(8:30~17:00)

- 救急患者さんが到着すると、救急医ならびに担当医が診察・診療を行います。その後、必要に応じて各診療科医師の診察や医師間での相談を行い、総合的な診療を進めていきます。
- 心肺停止などの重症な患者さんには、救急隊から連絡があり次第、多数の医師が集められます。救急車搬送と同時に蘇生を行うための高度医療が開始されます。

深夜帯(22:00~翌6:00)の救急対応について

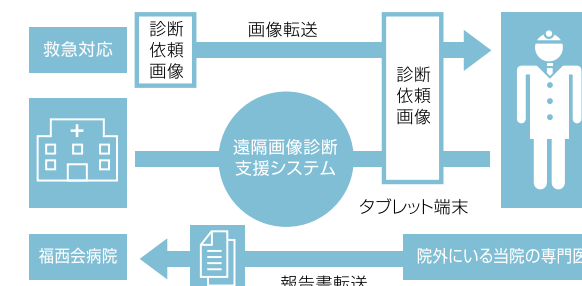
- 救急車で来院される方、紹介状持参の方、当院かかりつけの方に限り対応しています。

平日の時間外(17:00~8:30)および土曜日午後・日曜・祝日の診療

- 時間外および休日は内科系医師1名、外科系医師1名の計2名が常時当直や日直を担当。検査部では、臨床検査技師、診療放射線技師が院内に待機しています。
- 救急患者さんに当直医が診察を行います。必要に応じて各診療科の当番医を呼び出すオンコール制をとっています。
- オンコール制により、整形外科、消化器外科、呼吸器外科、一般外科の緊急手術、心臓疾患カテーテル治療、内視鏡やIVR(Interventional Radiology=画像下治療)による止血術などの治療が可能です。
- 極めて重症な患者さんに対しては、当直医および院内の医師が集められ、治療を行います。



当院では「遠隔画像診断支援システム」を導入しています。



最新の遠隔画像診断支援システムにより、診療時間外でも当院の専門医による迅速な画像読影が可能です。

診療科

Medical Department

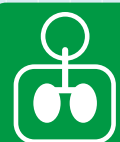
【内科系】



消化器内科

消化管(食道、胃・十二指腸、小腸、大腸)、肝臓、胆嚢、膵臓の疾患を中心に診療を行っています。

消化器センターの内科部門として血液検査、上下部内視鏡検査、腹部エコー、CT、MRIなどを用いて診断・治療を行い、集学的な治療が必要な病変に対しては、消化器外科や、状況に応じて他の診療科と連携しながら診療を行います。また、急な腹痛や消化管出血に対する緊急止血術などの腹部救急にも対応可能です。



呼吸器内科

院内の呼吸器外科と協力し、共に学びながら最新かつ最適な医療を患者さんに提供できるよう努めています。

呼吸器センターの内科部門として呼吸器外科との連携がスムーズに行えることです。外来もしくは入院患者さんについて、合同カンファレンスを開催し、情報を共有することで、垣根のない連携を取りながら治療方針の確認や決定をしています。そのような機会を通して、主治医同士での患者さんの病状や病態の把握に努め、チーム医療を心がけています。



循環器内科

心臓病や血管病に対して、適切でより安心・安全な診断および治療を心がけています。

循環器内科は心臓・血管系の疾患を対象としており、主な疾患としては虚血性心疾患、高血圧、心不全、不整脈、弁膜症、肺動脈疾患、大動脈疾患、閉塞性動脈硬化症などがあります。これらの疾患を早期発見・治療するために、心エコー、運動負荷心電図検査、ホルター心電図検査、冠動脈CT、心臓カテーテル検査などを行っています。

福西会病院では内科系診療科目として

消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、放射線科、脳神経内科、一般内科、糖尿病内科の

診療を扱っています。



腎臓内科

腎臓病の治療は早期発見、早期治療が大切です。

腎臓内科は血尿・蛋白尿の診断から腎不全の進行防止まで、急性・慢性、一次性・二次性を問わず内科的腎疾患を診療しています。腎炎・ネフローゼ症候群などの腎臓病、近年増加傾向にある糖尿病性腎症や腎硬化症の患者さんに対する治療方法の立案、食事療法、フットケアを中心とした生活指導を積極的に行っています。



放射線科

放射線科は、種々の機器(主に放射線を発生する)を用いて、診断および治療を行う部門です。

一般撮影、透視検査の他、CT、MRI検査および血管造影を行っています。CTを用いた冠動脈撮像、大腸検査(CTC)等も可能です。PACS、遠隔画像診断支援システムが導入されていますので、院内・院外ともに24時間、迅速な読影が可能です。血管内治療では出血性病変(喀血、消化管出血など)の止血、悪性腫瘍の治療(肝細胞がんなど)が主体です。血管外治療には呼吸器外科との連携による気胸の治療があります。



脳神経内科

頭痛、めまいなど、どなたも経験する症状からふるえ、物忘れ、歩きにくいなど日常生活で支障になるような症状までさまざまな疾患に対応いたします。

原因が、脳、脊髄、末梢神経、筋肉にある疾患が専門です。うつ病、不安神経症などの精神疾患を主症状とする疾患ではありませんが、診断が難しい病気が多いため、少しでも神経疾患を疑われた時はご相談ください。



一般内科

患者さんの状態に合わせて適切な治療を行います。

症状によっては、どの診療科を受診したらよいかわかることがないと思います。そのような場合に当科で診察し、患者さんにとって適切な診断を行います。当科で治療を行うこともあれば、他の診療科へ治療の継続を依頼することもあります。患者さんが安心して治療に臨めるよう共に考えていく診療を心がけています。



糖尿病内科

生活習慣病(高血糖・肥満・高血圧・高脂血症・肝機能障害)の診療を専門的にを行います。良い生活習慣を学んでいただき、生活習慣の改善を通して病気の予防と早期発見に努めています。

生活習慣病とは、食習慣(塩分過剰・野菜不足、偏食など)、運動不足、喫煙、飲酒過剰などの生活習慣が原因で作られる病気の種です。病気を発症した後でも他の診療科と連携しながら、生活全般に関して診療を行います。



診療科

Medical Department

【外科系】

福西会病院では外科系診療科目として

整形外科、消化器外科、大腸・肛門外科、呼吸器外科、泌尿器科、脳神経外科、総合外科、

麻酔科[常勤医:高橋亨]の診療を扱っています。



整形外科

四肢の骨折や変性疾患に対して適切な診断・治療(手術)を行い、早期にリハビリの開始や社会復帰ができるように取り組んでいます。

当院は二次救急病院であり、当科で入院される方は事故や転倒による四肢の骨折や外傷がほとんどです。その中でも高齢者の割合が多いため、認知症の有無にかかわらず早期離床と寝たきり予防のためにできるだけ早期に手術、リハビリを行っています。また、四肢の関節や腰に疼痛がある中高年の方も多いため、関節(股・膝・肩など)の変性疾患に対しても積極的に治療を行い、早期に社会復帰できるように取り組んでいます。



消化器外科

消化器センターの外科部門として、消化器がん(胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆管・胆嚢・膵臓)と胆石・胆管炎、虫垂炎、腸閉塞、消化管穿孔、ヘルニア(脱腸)およびその他の腹部救急疾患に対する手術治療や内視鏡治療を行っています。

急性期病院の外科として、腹部救急疾患に対して迅速な対応と診断、治療を提供する体制を整えています。近年は、高齢社会の影響でさまざまな併存疾患を有する患者さんが多く、各疾患に対する治療法も多様化しています。そのために患者さんへの充分な説明を行った上で、外科・内科・放射線科、麻酔科医師をはじめ診療に関わる全てのスタッフと連携しながら、抱える病状に最も適した治療法を立てて治療に臨み、社会復帰に向けて退院までを心身共にサポートしていきます。



大腸・肛門外科

痔核・裂肛・痔瘻などの肛門疾患、大腸ポリープ、大腸がんなど、さまざまな大腸・肛門疾患の予防から診断・治療・緩和まで、信頼の医療を目指し日々の診療を行っています。

男性医師と女性医師が在籍しております。女性の患者さんの場合、肛門科への受診にためらいを感じないように、女性医師が診察を行っています。性別を問わず安心して受診いただける環境作りに努めています。



呼吸器外科

呼吸器センターの外科部門として、呼吸器疾患全般の手術をはじめとした治療を行っています。呼吸器内科との密接な連携があります。

主に肺がんや悪性中皮腫等の悪性疾患に対する診断および外科切除を行っています。また、必要に応じて、抗がん剤治療に精通した、がん治療認定医による化学療法も行っています。さらに、自然気胸や膿胸に対する外科的治療に常時対応できるよう体制を整えています。特に、自然気胸に関してはほぼ全例に内視鏡を用いた痛みの少ない手術を行っており、術後早期の社会復帰が可能となっています。



泌尿器科

泌尿器疾患全般を対象に質の高い、丁寧な診療を心がけています。専門医が患者さんに分かりやすくインフォームド・コンセント(説明と同意)した上で、最適な治療を行います。

当科では、尿路上皮悪性腫瘍(腎臓がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣がんなど)、排尿障害(前立腺肥大症、過活動膀胱、神経因性膀胱、尿道狭窄など)、尿路結石症(腎結石、尿管結石、膀胱結石など)、尿路性器感染症(腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、尿道炎など)、および副腎腫瘍など泌尿器疾患全般の診療を行っています。※2021年度より体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置(ESWL)を導入。



脳神経外科

脳卒中、頭部外傷、頭痛疾患、てんかん、低髄液圧症候群(脳脊髄液減少症)などの診療を行っています。患者さんのおかれた状況をできるだけ理解した上で、きめ細かい医療の実践を心がけています。

薬物治療やリハビリテーションに加え、必要に応じて、頭部の手術を行います。脳卒中をおこしやすい原因をあらかじめ早期に発見し、脳卒中中の発病を未然に防ぐためのアドバイスや薬物療法なども行っています。



総合外科

外傷や急性腹症などの外科系救急を主として、他のさまざまな診療科と協力し診療にあたっています。

外科系救急のほか、体表の腫脹や腫瘍、リンパ節の腫大、褥瘡、蜂窩織炎などの疾患を含め、幅広く外科一般を扱う総合的な外科診療も行っています。どの診療科にかかるべきか分からない場合はまずこちらで診察を行い、その後、専門的な診療科での治療が必要と判断されれば、その科と連携してスムーズに治療が継続できるよう努めています。



麻酔科(常勤医:高橋亨)

麻酔科は、患者さんが安全にかつ安心して手術を受けることができるように常に心がけています。

麻酔管理だけでなく、術前・術後診察を行い、麻酔法や偶発症の説明など、患者さんの不安の軽減に努めています。全身麻酔に硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックなどの局所麻酔法を積極的に併用。術後の痛みを軽減できるように、ディスポーザブル式のPCAを積極的に取り入れています。



部 門

福西会病院には7つの主要部門があり、最適で効率的な診療が行われるよう、各診療科をサポートしています。

看護部

看護理念・方針

つなげる看護

- ◎その人らしさを尊重し支えます
- ◎チームで協力して、安全な看護を提供します
- ◎継続性のある看護に努めます
- ◎専門職として成長し続けます

看護部には、4つの病棟、手術室、透析室、外来の合わせて7つの看護チームがあります。各部署では、看護師と看護補助者が協力し安全で安楽な看護ケアを提供しています。また、患者さんに最も近い医療職として患者さんの思いを知り、患者さんが望む治療を安心して受けられるよう他職種との連携に努めています。この他、入退院支援センターや地域医療連携室には、入院前や退院後の生活を支援する看護師がいます。予定入院だけでなく、緊急入院の患者さんにも安心して入院していただき、退院後も健康レベルを保ちながら生活していただけるよう、多職種と協力し活動しています。



教育

院内外研修への参加支援

評価

自己評価と他者評価による能力認定

目標管理

WLB※に応じた学習と実践

※ワークライフバランス

●ジェネラリスト ●スペシャリスト ●看護管理者

キャリアデザイン／自己研鑽

クリニカルキャリアラダーⅤ／指導的役割

クリニカルキャリアラダーⅣ／実践のロールモデル

クリニカルキャリアラダーⅢ／中堅リーダー

クリニカルキャリアラダーⅡ／自立

クリニカルキャリアラダーⅠ／入職1年目(新人)

研修・教育

●看護部教育理念

看護部理念“つなげる看護”に基づいて看護師として専門性が発揮できる看護師を育成する。

●看護部教育目標

1. 救急医療を担うチームの一員として責任と役割を自覚し、人々に信頼される質の高い看護を提供できる看護師を育成する。
2. 看護師として専門性を発揮し、それぞれの意思を尊重してキャリア開発できるよう支援する。

薬剤科

薬剤科では、当院の理念である「誠実で信頼される医療」を実現するため、業務を通して薬物療法の安全確保と質の向上に努めています。調剤、抗がん剤調整など薬剤科内の業務のほか、全病棟に薬剤師を配置するとともに、感染制御、栄養サポート、医療安全など他の職種と協力しチーム医療の一員として専門性を生かして活動しています。また、薬学生の実務実習を受け入れ、将来の薬剤師育成にも携わっています。



放射線技術科

放射線技術科では、最先端の医療機器を駆使し多岐にわたる画像検査や透視下での治療など、診療画像を通じて患者さんに高度な医療の提供ができるよう、日々努めています。診療放射線技師は、患者さんの放射線被ばくの低減を常に考えて検査を行い、診療に必要な画像を作成します。また、検査装置が常に正常に働くように整備・管理も行っています。

- ◎一般撮影検査
- ◎心臓CT検査
- ◎骨塩定量(骨密度)検査
- ◎CTコロノグラフィー検査
- ◎透視検査
- ◎MRI検査
- ◎血管造影検査
- ◎早期アルツハイマー型認知症診断システム(VSRAD)
- ◎CT検査



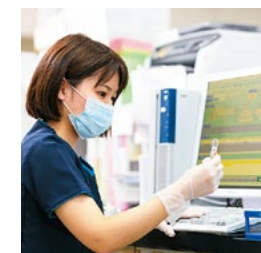
栄養管理科

入院患者さんの食事の提供を主体として、食事療法と栄養食指導、診療および治療における栄養サポート(Nutrition support team: NST)を行っています。患者さんの治療の一環として、満足していただける食事を提供し、1日でも早い回復のために真心を込めて調理に努めています。入院中の楽しみでもある食事をおいしく安心して召し上がっていただけるよう衛生管理にも十分気をつけています。



臨床検査科

臨床検査科は病気の早期診断、重症度の判定、臨床経過の観察、治療効果判定のため医師が必要と判断した検査を行っています。医療理念の「誠実で信頼される医療」に基づき、正確な検査データを迅速に提供することを目標とし、24時間体制で業務を行っています。



臨床工学科

臨床工学科では、医師の指示のもと生命維持管理装置の操作および保守点検業務を行っています。また、患者さんに安全でより効果的な治療を提供するために、最新の技術や知識習得に努め、常に向上心を持って業務を行っています。



リハビリテーション科

リハビリテーション科では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3職種を一つのチームとして、病棟毎にチーム編成を行い円滑なリハビリテーションの提供に努めています。急性期病棟では、日々変動する疾患の状態に応じた評価や治療を中心に行い、専門性を活か

したリハビリテーションを365日体制で提供しています。また、地域包括ケア病棟では、ご自宅や施設での自立した生活を見据えて日々のリハビリテーションを行っています。



地域医療連携室

地域・医療機関のみなさまとの架け橋に。
より良い医療をスムーズにご提供できるよう努めます。

地域医療連携室は、地域の医療機関、介護福祉施設および行政機関との連携を密に行い、患者さんにより良い医療を提供できるよう努めております。
また、地域の診療所、病院、施設などからの診療や検査のご依頼に対して、速やかに受け入れができるよう院内の調整を行っております。

主な業務

- ◎前方支援／外来受診、予約入院、転院の受け入れ調整
- ◎後方支援／在宅療養、転院、施設入所などの調整（退院支援）、介護保険、福祉制度などに関する相談支援
- ◎広報活動／「医療連携の集い」の開催、「いきいき健康まつり」の開催、公民館での講演活動
- ◎事務業務／検査予約受付（CT／MRI）、紹介状および返書の管理

医療・福祉・介護に関するご相談について

地域医療連携室では、患者さんやご家族の方々からの医療・福祉・介護に関する相談をお受けしています。
病気や怪我の療養に伴う社会的・経済的・心理的問題についてお話をうかがい、解決に向けて一緒に取り組んでまいります。

たとえばこんなとき…

- ◎外来や入院に関する相談（受診相談、セカンドオピニオンなど）
- ◎医療費に関する相談（高額療養費、難病医療費など）
- ◎生活費に関する相談（生活保護の申請など）
- ◎介護保険に関する相談（介護保険の申請や利用方法など）
- ◎福祉に関する相談（身体障害者手帳の申請、成年後見人制度など）

医科歯科連携

当院では、手術や化学療法を受けられる患者さんの入院中のお口のトラブルをなくし、早期に退院できるように福岡歯科大学医科歯科総合病院と連携し、周術期口腔機能管理を行っています。周術期口腔機能管理とは、医科と歯科が連携して、患者さんの口腔機能管理を実施することにより、「手術」を行う場合のトラブルや誤嚥性肺炎・感染症の予防と、「化学療法」を行う場合の口腔粘膜炎や口腔内感染症等に対する治療の向上を目指すものです。

Floor Map 新館



在宅診療

患者さんとその周りの方々の健やかな生活が維持されるよう、寄り添いながら、医療支援を行います。

身体・健康上の理由で通院が困難な患者さん、退院して自宅で療養されている患者さんを定期的に訪問して、医療・看護サービスのご提供や薬の処方、療養上の相談・指導等をさせていただきます。最後の時を住み慣れた家で、ご家族さまと一緒に過ごされたい方のために親身にサポートさせていただきます。
当院には、訪問看護、居宅支援事業所が併設されているので、速やかな情報共有が密にできており、安心・充実した在宅医療が可能です。

ご希望・ご不明な点があれば、お気軽にご相談ください

電話092-407-3537（直通）
月～金曜日 9:00～16:30（土・日・祝日除く）

24時間
365日
対応



設備紹介



待合ロビー



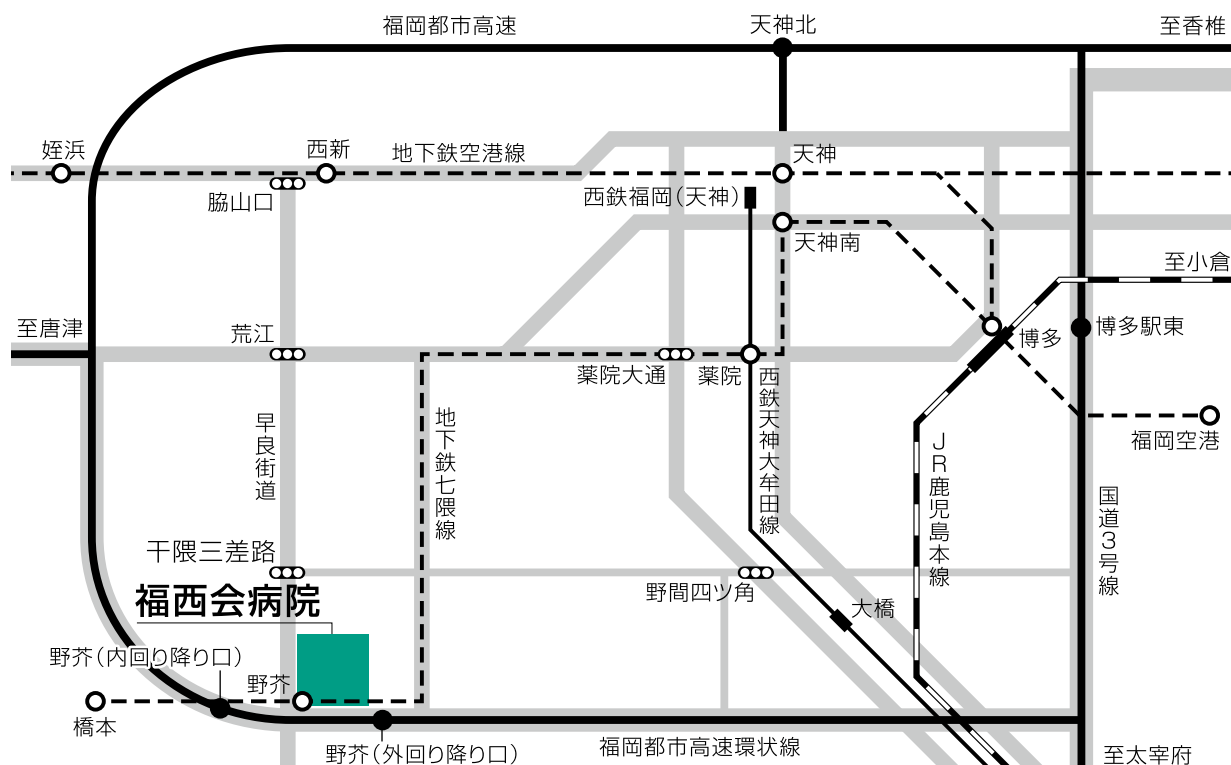
喫茶アイリス



病室（4人床）



病室（個室）



ACCESS

公共交通機関

地下鉄七隈線 野芥駅にて下車(2番出口すぐ)

西鉄バス 野芥駅前にて下車(降りてすぐ)

都市高速

野芥ランプから 【内回り】福岡高速5号線・野芥ランプより、
外環状線を直進「野芥口」交差点を越え側道へ…約3分

【外回り】福岡高速5号線・野芥ランプより
外環状線を直進「野芥口」交差点右折……………約1分

社会医療法人 福西会 福西会病院

外来診療時間／

◎月～金曜日 午前 8:45～12:30(受付時間 8:00～12:00)
午後 13:30～17:00(受付時間 13:00～16:30)

◎土曜日 午前 8:45～12:30(受付時間 8:00～12:00 午後休診)

ご質問・お問い合わせ

TEL.092-861-2780(代表)

〒814-0171 福岡県福岡市早良区野芥1丁目2-36
FAX.092-861-2111

<https://fukuseikai-hp.com>

福西会病院

検索

